

一般社団法人日本地域看護学会 2019年度第5回理事会議事録

- I. 日 時 2020年2月24日(月) 10:30~15:00
- II. 会 場 東京国際フォーラム G507 会議室
(東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 ガラス棟 5F)
- III. 出席者
- | | |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 理事長 | 宮崎美砂子 |
| 副理事長 | 荒木田美香子, 田高 悦子 |
| 理 事 | 石橋みゆき, 石丸 美奈, 上野 昌江, 大森 純子,
岸 恵美子, 北山三津子, 河野あゆみ, 小西かおる,
田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗 |
| 監 事 | 佐伯 和子, 村嶋 幸代 |
| 事務局 | 筒井 愛, 野田 智己 |
- (*印は欠席者)

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。また、本理事会の議事録署名人として、宮崎理事長および別所監事が指名された。

IV. 議 事

報告事項

1. 第23回学術集会について(河野理事)

第23回学術集会(2020年8月29~30日)の準備状況について、1月7日より、一般演題・自由集会・ワークショップ等の募集ならびに事前参加申込を開始している旨を報告した。

2. 第24回学術集会について(岸理事) 当日資料

第24回学術集会について、2021年9月11日(土)~12日(日)、一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)において、「共生社会における新たな地域看護の挑戦(仮)」をテーマに開催予定である旨を報告した。

3. 会員数について(石丸理事) 資料1

2月13日時点での会員数は、1,470人である旨を報告した。

4. 委員会報告について

1) 編集委員会(北山理事) 資料2、3

第23巻第1号(2020年4月発行)より、HPにて学会誌を公開する旨を報告した。掲載論文についてはJ-STAGE上で公開し、巻頭言・編集後記・委員会企画原稿はHP上にてPDF形式で公開することとした。各委員会報告・学術集会長講演・学会だより・ニュースレターについても同様にHPにて公開することとした。

また、2019年12月21日(土)に開催された日本看護系学会協議会(JANA)利益相反(COI)に関する情報交換会に尾崎委員が出席し、専門家から各学会にCOIに関するガイドライン作成について要望がなされた。

2) 研究活動推進委員会(大森理事)

第1回研究セミナー(3月8日開催)に向けて、準備を進めている旨を報告した。

開催の可否について、新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、現時点では開催予定であるが、厚生労働省等の動向を見ながら最終的に判断することとした。中止の際には参加者全員に連絡するとともに、HP上に案内を掲載することとした。

3) 広報委員会(田村理事)

一般社団法人日本看護学校協議会会員校442校を対象に広報活動を行い、学術集会の案内チラシと質問紙を郵送し、66通の回答(回収率14.9%)があり、委員会で内容を確認中である旨を報告した。

4) 教育委員会（岸理事） 当日資料

地域看護学の到達目標や教育内容・方法の検討を行っている旨を報告した。今後、役員に意見を求めるとともに会員にパブコメの募集を行い、2020年夏頃に地域看護学の到達目標や地域看護学の教育内容・方法について報告予定である。

5) 国際交流推進委員会（河野理事）

第23巻第1号に掲載予定である英文ニュースレターNo.19を作成中である旨を報告した。

また、日韓地域看護学会共同学術集会の継続については、昨今、国際学会発表の機会が増え、その役割を果たしたとの理事会の判断をふまえて、韓国地域看護学会に報告し、終結した旨が報告された。

第6回WANS学術集会（2020年2月28～29日／大阪国際会議場）について、企画委員会およびプログラムへの参画を行っているが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止の可能性もあり、本学会としては学術集会長長の判断に従うこととした。

6) 表彰論文選考委員会（上野理事） 当日資料

2019年度論文賞の選考に際し、役員・代議員による事前投票を実施した旨（投票人数：32名、投票率：47.7%）、第1回委員会を2月22日に開催し、論文賞ならびに名誉会員候補者の選考を行った旨を報告した。

7) 災害支援のあり方検討委員会（春山理事）

栃木県からの要請を受け、2020年1月29日に開催された台風19号による被災市町村の保健活動に関する情報収集及び振り返り支援の研修会に委員ら4名が講師として参加した旨、また、第23回学術集会ワークショップへの参加を予定している旨を報告した。

5. 2019年度中間決算について（石橋理事） 資料4

2月18日付の収支計算書を基に、2019年度中間決算について報告した。

審議事項

1. 前回理事会議事録について（宮崎理事） 資料5

第4回理事会議事録について、内容を確認し、これを承認した。

2. 第23回学術集会理事会セミナーについて（宮崎理事） 資料6

第23回学術集会における理事会セミナーについて、「Society 5.0」の社会に向けた科学・学術および日本地域看護学会（会員）のあり方について示唆を得る」ことを目的とした講演を企画することとした。講師の第一候補に乙部由子氏（名古屋工業大学男女共同参画推進センター）、第二候補に岡田知弘氏（京都橋大学）が選出され、理事長および副理事長より打診することとした。

3. 2020年度社員総会について（石丸理事） 資料7

2020年度社員総会について、6月28日（日）11:00～12:30、日本教育会館805号室北館にて開催する旨を決定した。また、昨年と同様に出席社員に交通費を支給することとした。

4. 2019年度事業報告案について（石丸理事） 資料8

2019年度事業報告案（学会全体および委員会活動）について、資料を基に確認した。内容を点検したうえで次回理事会において確認し、2020年度社員総会に諮ることとした。

5. 2020年度ならびに2021年度事業計画案について（石丸理事） 資料9

2020年度事業計画案ならびに2021年度事業計画案について、資料を基に確認した。役員選挙の実施および地域看護学術検討ワーキンググループの活動終了等を反映したうえで、次回理事会において確認し、2020年度社員総会に諮ることとした。

6. 役員選挙について（石丸理事） 資料10

2020年度役員選挙のスケジュールを確認した。選挙管理委員会委員長として永田理事、副委員長として田村理事が推薦され、これを承認した。

7. 会員専用サイトについて（石丸理事） 資料11

会員専用サイトについて、総務と広報委員長を中心に他学会との比較や本学会における要否の検討を行った結果、現段階で設置を急ぐ必要はないとの判断に至り、今期は見送ることとした。

8. 2020年度予算案について（石橋理事） 資料12

2020年度予算案について、資料を基に確認した。委員会活動費および交通費等を見直したうえで次回理事会において確認し、2020年度社員総会に諮ることとした。

9. 2019 年度表彰論文および名誉会員について（上野理事） 当日資料

表彰論文選考委員会にて選考した、2019 年度論文賞ならびに名誉会員候補者について、資料を基に検討した。論文賞は選考方法も含め適切であったことを確認したうえで、優秀論文賞 1 編および奨励論文賞 2 編を承認した。名誉会員候補者は、別所遊子氏を推挙し、2020 年度社員総会にて承認を得ることとした。

優秀論文賞

タイトル：乳幼児を養育していた母親が福島第一原子力発電所事故の放射線被ばく回避を目的として自主避難を実行するまでのプロセス（原著）

著者：松永妃都美

巻号：第 21 巻第 2 号

奨励論文賞 1

タイトル：禁煙外来受診者が禁煙を開始し継続する心理的プロセス（原著）

著者：依田明子・佐藤由美

巻号：第 21 巻第 3 号

奨励論文賞 2

タイトル：地域で生活する未治療・治療中断の統合失調症をもつ人への保健師による生活能力に視点をおいた支援（研究報告）

著者：松本恵子・上野昌江・大川聡子

巻号：第 21 巻第 2 号

10. 入退会者申請者および年会費滞納者について（石丸理事） 資料 13・回覧資料

入会申請者 25 人、退会申請者 26 人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない者については宮崎理事長を推薦人とする旨、再入会希望者で未納の年会費がある者については未納分を納めたうえで入会を認める旨、また、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を併せて確認した。

また、会費滞納者について、2 年滞納の 28 人には会員資格の継続を認め引き続き年会費を請求し、3 年滞納の 13 人は 2 月 24 日付での退会手続きを取ることにし、これを承認した。

11. 第 25 回学術集会長について（宮崎理事）

2022 年開催の第 25 回学術集会の学術集会長について検討した。今後、候補者に、宮崎理事長より就任の可否を打診することとした。

11. その他

次回理事会の日程について（宮崎理事）

5 月 31 日（日）都内会議室にて、2020 年度第 1 回理事会を開催することとした。

メール審議事項

1. 健康危機発生時の支援に関する意向調査について

3 月 13 日、健康危機管理支援ワーキンググループより、健康危機発生時の支援に関する意向調査を開始してよいか提案され、承認された。

2. 日本地域看護学会健康危機管理支援システムの申し合わせについて

4 月 6 日、健康危機管理支援ワーキンググループより日本地域看護学会健康危機管理支援システムの申し合わせについて（案）が作成され、運用を開始してよいか提案され、承認された。

3. 第 23 回日本地域看護学会学術集会の開催方法について

4 月 16 日、河野学術集会長より、第 23 回学術集会開催について対面開催は中止すること、企画プログラム、ワークショップ、一般演題等の抄録を講演集にて誌上発表とすること、学会からの助成金 100 万円ならび他の助成・企業からの広告料等、「演題登録費」等を合わせた金額内で上記内容やこれまでの委託料等について採算をとることに努めることが提案され、承認された。

4. 臨時の入会審査について

4 月 16 日、学会入会申し込み 74 名について入会審査をおこなった。推薦者なし 5 名については、理事が推薦者となること、記載漏れがあるものについて確認し追記することとして承認された。

以上